

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童通所支援ぽっとまむ（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	2025年 9月 22日		～ 2025年 10月 6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31人	(回答者数) 26人
○従業者評価実施期間	2025年 9月 22日		～ 2025年 10月 6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12人	(回答者数) 12人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様が楽しくのびのびと過ごせる。	それぞれの曜日や利用されるお子様の個性に合わせて活動内容を工夫し、毎回楽しく過ごせるよう配慮している。また、お子様の自主性を大切にし、本人が“やりたい”“やってみよう”と思えるような関わりを心がけている。	お子様の成長に合わせて、確実にスキルアップができるような活動の提供に向け、職員の専門性の向上に取り組む。
2	地域校（通常級・支援級）支援学校と、様々な環境で学ぶお子様と一緒に支援しているので、事業所での過ごしがそのまま地域交流の場となっている。	それぞれのお子様の特性や性格を、お互いに理解し受け止められるよう職員がサポートし、他者を尊重することの大切さを知ってもらいたいと思っている。	基本的には、一つの活動に全体で取り組むスタンスは変わらず、それぞれのお子様のスキルに合わせて取り組む中で、友達と協力、助け合いながら一つの物に作り上げていき、達成感や『喜び』を共有できるような取り組み方を工夫したい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援に向けた様々な取り組みが行えていない。	コロナ感染前は、事業所内研修に家族参加の機会を設けるなど、家族向け支援にも取り組んでいたが、コロナ感染を期に中止し、現在に至っている。	最近行政や関係機関から様々な研修の案内をもらい、家族向けにも情報提供を呼びかける物が増えてきた。その中で、関係機関に協力を依頼し、現在、家族支援に向けた様々な取り組みを検討中で、来年度には実現できるよう進めていきたい。
2	パート職員や福祉経験の浅い職員に対する『障害福祉』の基礎知識を学ぶ機会が作れない。	正規雇用の新人職員に対しては、新人研修等への参加を義務付けているが、パート職員やキャリア採用職員には機会を設けていなかった。特にパート職員は勤務可能時間に制限がある職員も多いため、外部研修への参加も難しい。	事業所内で研修を実施するのが良いとは思いますが、正しい知識や法改正までを熟知していないといけなため、実施方法や講師の選定などについても、しっかりと検討していく必要がある。また、外部研修に参加した職員が講師となり、事業所内での伝達研修の実施を定着させていきたい。